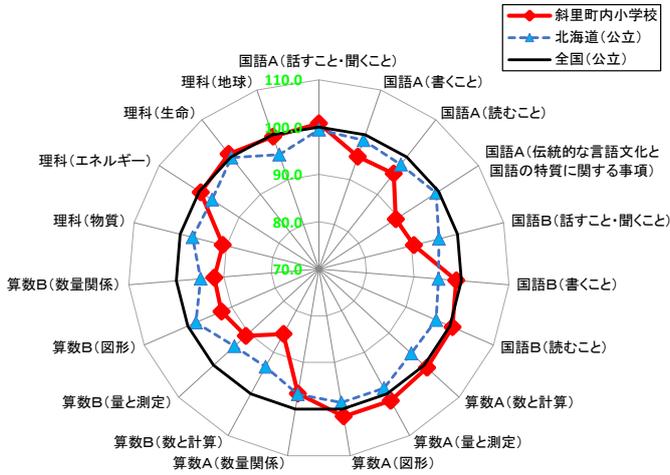


■斜里町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:94人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



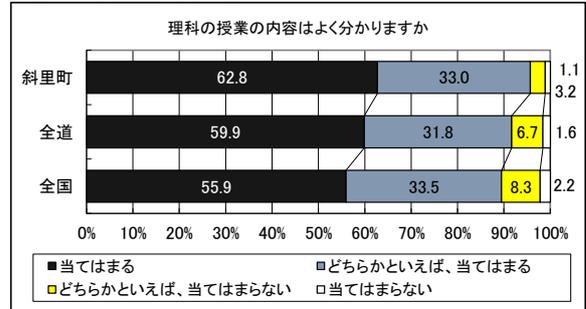
【全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合】

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
斜里町	35.2	39.3	37.3	36.1	27.6
全国との差	4.3	7.2	3.9	5.9	1.3

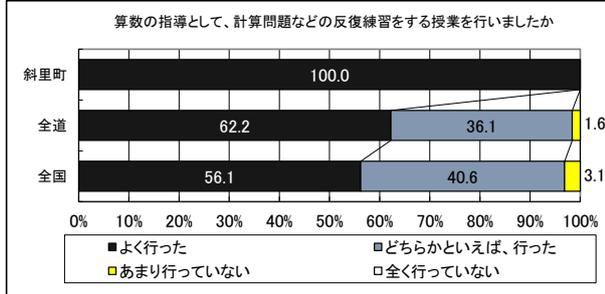
【斜里町の平均正答率】

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
斜里町	65.2	52.4	63.5	45.4	59.2
全国との差	-5.5	-2.3	0.0	-6.1	-1.1
全道との差	-4.9	-0.3	1.3	-3.3	0.4

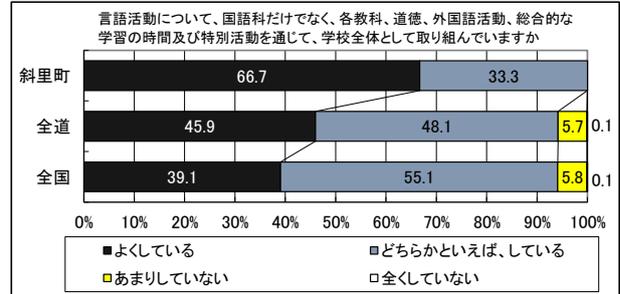
【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、Bでは、「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「量と測定」「図形」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回り、「エネルギー」「地球」で全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数A・Bでは、全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合が高いことから、学校全体で調査結果を活用した授業改善や放課後等を活用した学習サポート、家庭学習の充実に取り組む必要がある。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだことにより、国語Aの「話すこと・聞くこと」、Bの「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業を行った」と回答している。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算問題などの反復練習をする授業や、分かりやすい授業を行ったことにより、基礎的・基本的な学力が身に付き、算数Aの「数と計算」「量と測定」「図形」及び理科の「生命」で全国を上回ったと考えられる。

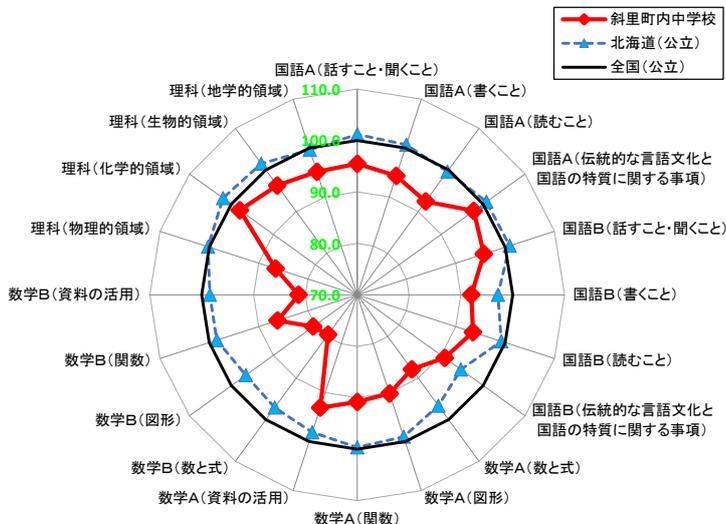
【斜里町の学力向上策】

- ◎ 義務教育学校における小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 町内全校における、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 学習習慣や生活習慣の定着を目指した年10回程度の土曜授業の実施

■斜里町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:85人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



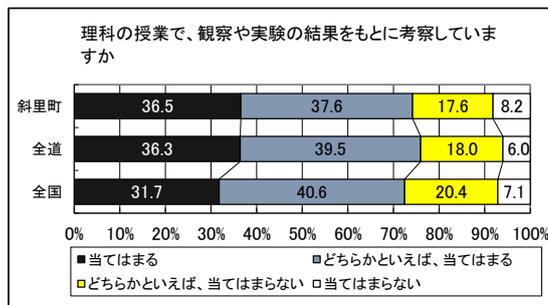
【全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる生徒の割合】

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
斜里町	30.8	36.6	43.9	48.3	37.7
全国との差	2.7	7.3	17.7	16.5	12.2

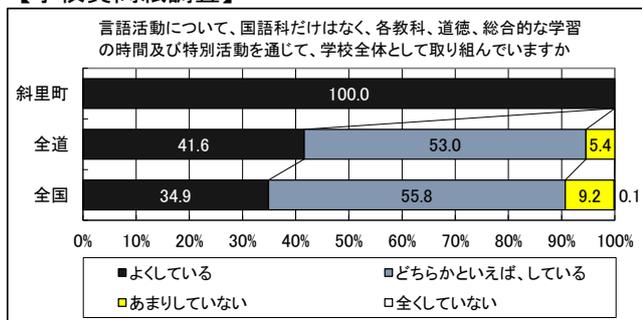
【斜里町の平均正答率】

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
斜里町	73.4	57.8	59.3	38.3	61.9
全国との差	-2.7	-3.4	-6.8	-8.6	-4.2
全道との差	-3.2	-3.4	-5.6	-7.5	-4.8

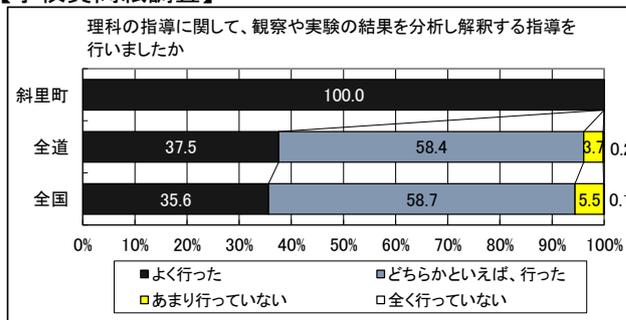
【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

項目	分析内容
教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語A、Bでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「化学的領域」で全国に最も近くなっている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての学校が、「理科の指導に関して、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行った」と回答している。 ○ 全ての学校が、「言語活動について、国語科だけでなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答している。

【斜里町の学力向上策】

- ◎ 義務教育学校における小中一貫教育及び中学校を軸とした小中連携教育の充実
- ◎ 町内全校における、特色ある学校づくりを支援する校長提案型事業の実施
- ◎ 教育活動支援講師の配置と放課後や長期休業中の学び直しの機会の提供等、きめ細かな学習環境の整備
- ◎ 学習習慣や生活習慣の定着を目指した年10回程度の土曜授業の実施